

三島ダムの漏水対策について

耕地課

平成 30 年 5 月に三島ダム（君津市、農業用水）の洪水吐こうずいばきにおいて、漏水が発生しました。流域への安全を確保するため、早急にポンプ車等を配置して水位を下げ、応急工事を 12 月末に完了しました。

今年度は、上流にある豊英ダムからの応援給水と農家の節水により、水稻栽培期間を無事終えることができました。

漏水の原因と本格復旧については、ダムの専門家等で構成される委員会を設置し、検討を進めてきました。

今後、委員会の意見に基づき、早期の本格復旧を目指してまいります。

※洪水吐：ダムの余剰水を下流の河川へ安全に放出させる施設

1 三島ダムの概要

- 総貯水量 540 万 m³
- 受益面積 水田 1,606ha
- 工期 昭和 18~30 年
- 管理者 千葉県



2 漏水の状況

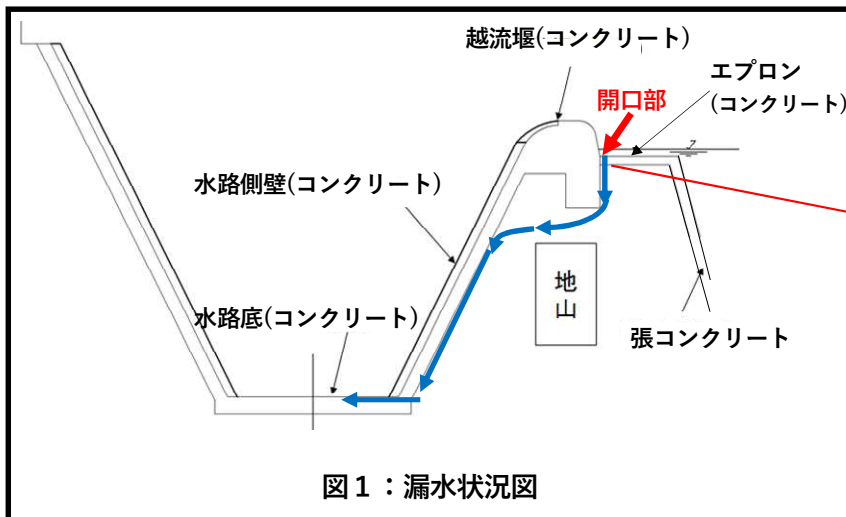
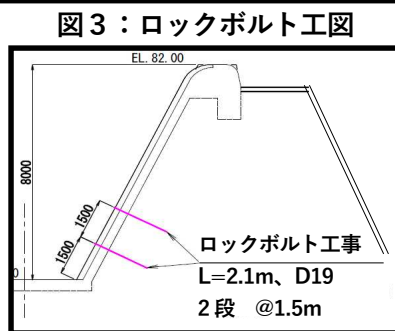
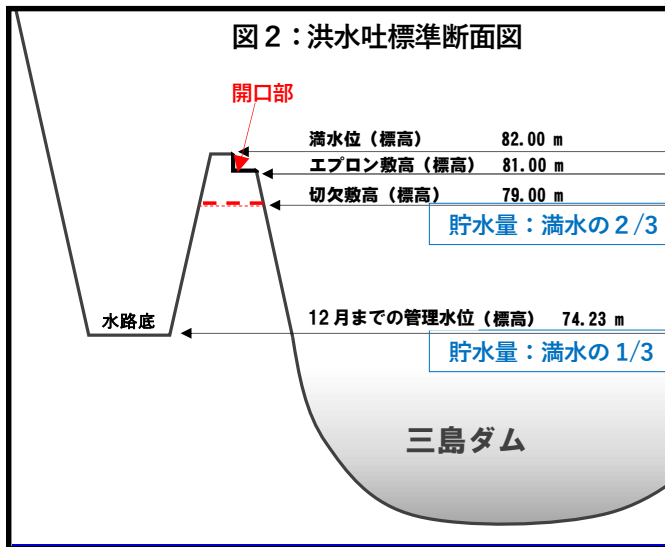


写真 3 : 開口部

図 1 : 漏水状況図

3 今年度の対応

- ① ポンプを設置し水路底の高さ(74.23m)まで水位を下げ(5 月末)、以降 74.23m で水位を管理した。
- ② 大雨時においても開口部(81.0m)まで水位が上がらないよう洪水吐の一部を 79.0m の高さまで切り欠く工事や水路壁を地山に固定するロックボルト打ち込み工事等の応急工事を実施した。(12 月末完了)
- ③ 現在、切欠部 79.0m まで貯水を開始している。



4 原因究明

エプロン部から越流堰の下部において、地山表面で風化が進行し、エプロン部などから側壁背面にダム貯留水が浸入したことが原因と考えられる。(図4)

5 本格復旧の方針

実施設計を平成31年度に実施する。(図5)

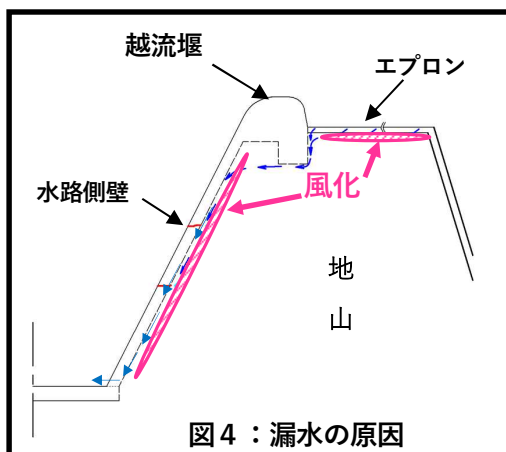


図5：本格復旧案

